

# 戦争準備の風潮の下、私たちができること 東アジアからの平和構築

講演：羽場久美子さん

プロフィール

青山学院大学名誉教授、京都大学客員教授、早稲田大学  
招聘研究員、世界国際関係学会アジア太平洋前会長、世界  
国際関係学会元副会長、グローバル国際関係研究所所長。  
著書に、『ヨーロッパの分断と統合』『アジアの地域統一戦争を避けるために』『アジアの地域協力を危機をどう乗り切るか』『アジアの地域共同－未来のために』『即時停戦！砲弾が私たちが焼き尽くす前に』（社会評論社）、など多数。

コンサート：伊舞木座

地域のつながりの中で50年、笠木透さんの曲やオリジナル曲を歌い続けてきたフォークデュオ寺倉夫妻。平和を願う歌や元気の出る歌を爽やかな歌声と温かい演奏で届けてくれます。



とき：5月3日（憲法記念日）

13時30分～（開場13時00分、終了予定16時10分）

ところ：大垣市情報工房スィンクホール

入場無料（協賛金募集）

※託児については事前（4月20日頃まで）にご相談下さい。

## 30回目

### ～平和・人権・民主主義を考える西濃憲法集会2024への呼びかけ～

1995年から始まった西濃憲法集会は、今年で30回目を迎えます。この30年で世界は大きく変わり、100年から200年に一度の大きな転換期を迎えていると言われていています。

近代市民革命によって資本主義国家が誕生し、200年以上に渡って地球上を支配してきた自由主義、民主主義、法の支配といった価値観が大きく揺らいでいるからです。近代化をけん引してきたアメリカ、イギリスが「自国ファースト」を唱え、自国中心主義と保護主義を前面に押し出しています。また、ヨーロッパにおいては、極右勢力・ポピュリスト政党が国民の支持を集め、政権を奪ったり、議会の多数派を握ったりしています。民主主義の危機が言われています。他方、中国やインド、東南アジアの経済的発展はめざましく、2030年頃にはGDPで中国がアメリカを抜き世界1位に、2060年頃には中国とインドが1位と2位を争うようになると言われています。しかし、これらの国が新たな世界秩序を形成するまでには至っていません。「大転換が必然」の中で、これまでの秩序が崩壊すれば、世界中で混乱と紛争が拡大される可能性が高くなっています。

日本はどのような立場に立って、どのような役割を果たしていくべきなのでしょうか。

岸田政権は、安保条約を中心とした日米同盟に固執し、アメリカ一辺倒の立場に立っています。ひたすらアメリカの軍拡要求に従い、安保三文書を改定し、軍事費を5年間で43兆円、GDP2%に増額すると言いき、アメリカから武器を「爆買い」しています。また、憲法9条の明文改憲にも前のめりの姿勢のままです。これは、特に東アジアでの緊張を高め、むしろ戦争の危険性を高めています。

歴史の転換点にあって、憲法を守り、平和を求める私たちの運動もそれに見合ったものにしていく必要があります。西濃憲法集会2024にご参加していただき、一緒に考えていきませんか。



会場 (大垣市小野4丁目35-10 TEL 0584-75-7000)

#### <協賛金のお願い>

「西濃憲法集会」は、毎年入場無料で開催し、運営費用は、運動の主旨に賛同して下さる多くの個人や団体の協賛金でまかっています。多くの方に、ご参加・ご協力(協賛、運営への協力、参加よびかけ)下さいますようお願いいたします。(1口1000円、複数口歓迎。プログラムにお名前を載せたいと思います。匿名希望の場合はその旨を振込用紙にお書き下さい。)

#### 【ゆうちょ銀行振替口座】

記号番号 00870-6-101487

加入者名 近藤ゆり子

「平和・人権・民主主義を考える」西濃憲法集会2024実行委員会 TEL0584-81-5105

岐阜県大垣市室町2-25 弁護士法人ぎふコラボ西濃法律事務所内

E-mail [seinolaw@nifty.com](mailto:seinolaw@nifty.com)